第4章

生涯職業能力開発体系について

4-1 生涯職業能力開発体系とは

職業能力開発促進の 基本理念

牛涯職業能力開発体系

職業能力開発の促進は、

- ①「労働者各人の希望、適性、職業経 験等の条件に応じて」行われるとと もに、
- ②「雇用及び産業の動向、技術の進 歩、産業構造の変動、経済活動の国 際化等に即応できるもの」であり、

労働者の「<u>職業生活の全期間を通じて</u> <u>段階的かつ体系的に行われ</u>」なければ ならない。 基本理念に基づき

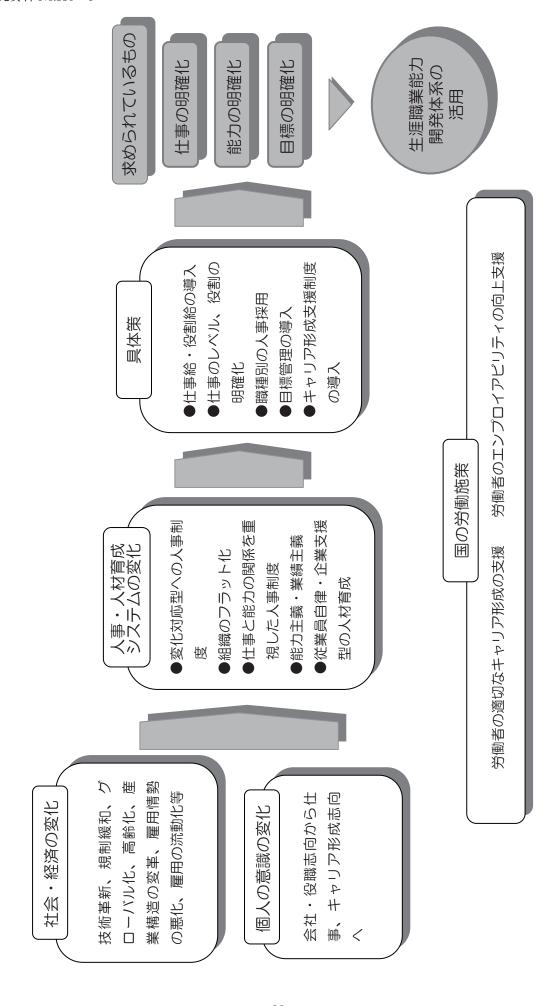
- ①産業・業種や団体・企業が有する職務を遂行するために<u>必要な職業能力</u>
- ②労働者各人がその職業能力を習得す るために行なう**能力開発**を

段階的かつ体系的に具現化したもの

(1) 生涯職業能力開発体系の特徴

- a. 団体・企業が有する、または必要とする職業能力(スキル)が明確になる。
- b. 従業員各人の現在のスキルが明確になり、従業員のスキルの確認、将来目標 の設定が容易になる。
- c. 能力開発の成果がスキル向上により明らかになる。
- d. 段階的・体系的な人材育成ができる。
- e. 計画的・効果的な人材育成ができる。
- f. 人員配置や目標に合わせた効果的な人材育成ができる。

4-2 人材をめぐる環境変化と求められているもの



●「能力開発の道しるべ」として活用

4-3 生涯職業能力開発体系の構成

様式1 生涯職業能力 生涯職業能力開発体系 開発体系 職業能力体系 職業能力開発体系 様式2 職務別職業能力体系 様式5 職業能力開発体系 様式3 職務別能力要素の細目 様式6 目標別職業能力開発体系 様式4 職務別能力要素の細目の 様式7 カリキュラム 内容 ●職務、仕事を遂行するために必要な ●習得すべき職業能力から能力開発の 職業能力を明確にし、段階的かつ体 目標を明確にし、その目標に応じた 教育訓練を段階的かつ体系的に整理 系的に整理したもの ●「職業能力のものさし」として活用 したもの

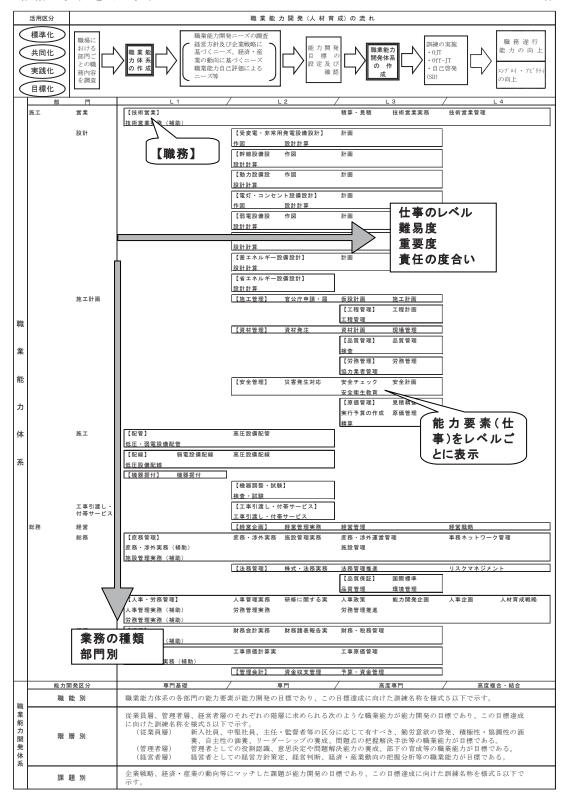
(1) 様式1(生涯職業能力開発体系)

職業能力体系と職業能力開発体系の全体像を鳥瞰できるように示したもの。

生涯職業能力開発体系

設備工事業(電気工事業)

様式1



(2) 様式2 (職務別職業能力体系)

能力要素(仕事を遂行する能力)を段階的・体系的に示したもの。職務ごとの仕事が明確にできる。

設備工事業(電気工事業)

職務別職業能力体系

様式2

部門	レベル 職務	L 1	L 2	L 3	L 4
施工 営業	技術営業	技術営業実務 (補助)		積算・見積 技術営業実務	技術営業管理
施工 設計	受変電・非常用発電設備設 計		[作図 設計計算	計画	
	幹線設備設計		作図 設計計算	(東) (南)	
	動力設備設計		作図	計画	
	電灯・コンセント設備設計		作図	[計画	
	1				
施工 施工	配管	低圧・弱電設備配管	高圧設備配管		
	配線	弱電設備配線 低圧設備配線	高圧設備配線	能力要素 (仕事)	
	機器据付	機器据付			
	機器調整・試験		検査・試験		

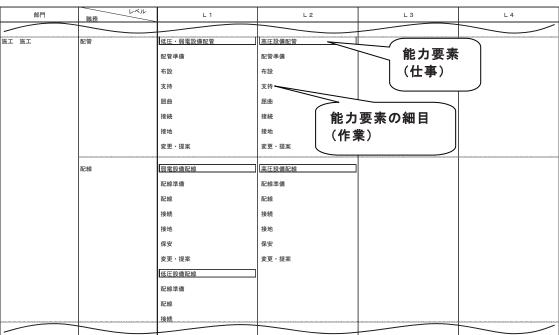
(3)様式3(職務別能力要素の細目)

能力要素とそれを構成する能力要素の細目(作業を遂行する能力)を示したもの。仕事を構成する作業が明確にできる。

設備工事業(電気工事業)

職務別能力要素の細目

様式3



(4) 様式4 (職務別能力要素の細目の内容)

能力要素の細目を構成する知識及び技能・技術の内容を示したもの。作業を行うために必要な能力が知識及び技能・技術により確認できる。

設備工事業(電気工事業)

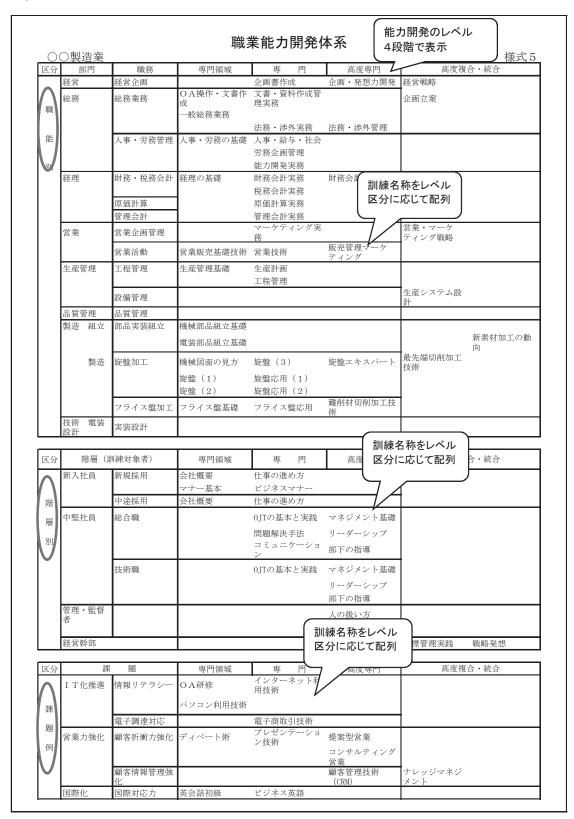
職務別能力要素の細目の内容

様式4

職務	配管		レベル表示	L 2	
能力要素	高圧設備配管				
能力要素の細目	能力要素の細目の内容				
1. 配管準備	知識 技能技術	1. 現場作業全体の流れを知ってい 2. 各種電気設備機器の名称を知っ 3. 各種電気設備材料の名称を知っ 1. 作業工程の把握ができる 2. 危険な工事についての事前の注 3. 配管準備における注意事項を連 4. 搬入・搬出作業ができる 5. 職長(班長)の指示に従って作 6. 作業上の障害が確認できたとき 7. 指示に基づいて作業現場の片っ	っている っている 上意事項を確認できる 身守し、安全に作業を 非業に必要な資材、機 は、職長(班長)に	器、工具等の準備ができる	
2. 布設	知識 技能 技術	1. 建築関連・電気設備関連の法規 2. 管の種類と特徴、それぞれの加 3. 各種類のシンボル・記号を知っ 1. 設計図、仕様書、施工要領書を 2. 配管サイズ、配管の間隔を確認 3. 配管ルートやボックスの取りを 4. 建物の強度維持に配慮した布記 5. 温度変化による管の伸縮に配慮 6. 施工図により管の寸法を確認で 7. 施工図、施工要領書に基づいて 8. 通線、接続に配慮したボックラ 9. 振動や圧力に対する管の防護数 10. ボックスの防湿処理ができる 11. 露出配管、隠ぺい配管、コング	正工方法を知っている っている こだ記しとができる 思できる けけ位置を検討できる 意した布設ができる できる これ設ができる に本設ができる に本設ができる に本設ができる に本設ができる に本設ができる		
3. 支持	知識 技能 技術	主 2 ・ 建築関連・電気設備関連の法規 主 2 ・ 管の種類に応じた適切な支持目 3 ・ 露出配管する場合の各種支持対 4 ・ 管をコンクリートへ埋め込む場 1 ・ 各種管の特性を踏まえた適切な 2 ・ 造営材の種類に応じた適切なす 3 ・ 管の外装を損傷しないように	間隔を知っている	ている	

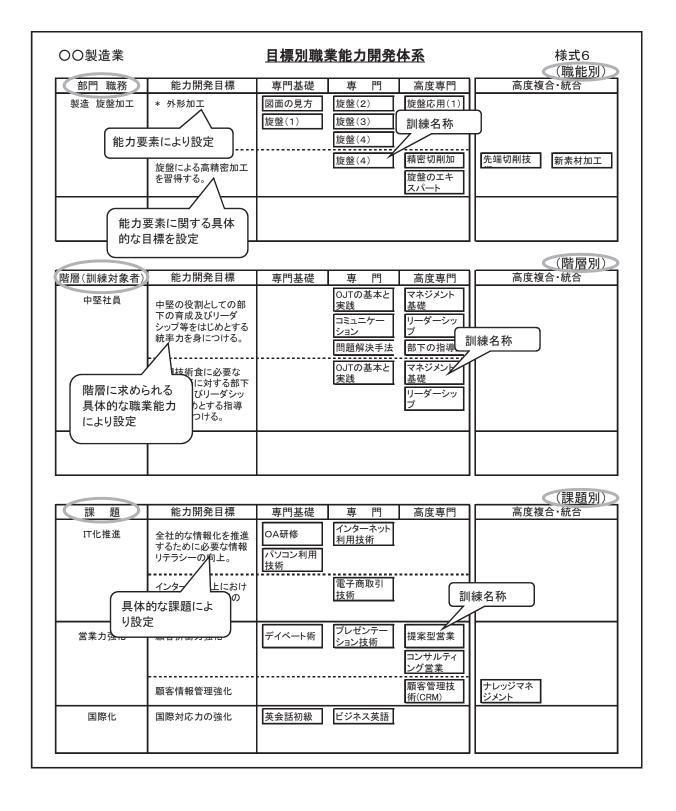
(5) 様式5(職業能力開発体系)

職業能力開発体系の全体像を鳥瞰できるように示したもの。職能別、階層別、 課題別に訓練名称を段階的・体系的に示している。(本調査研究では作成に至っていない)



(6) 様式6(目標別職業能力開発体系)

職能別、階層別、課題別に、能力開発目標ごとの訓練名称を示したもの。能力 開発の目標とそれに対応した訓練名称が確認できる。(本調査研究では作成に至っていない)



(7) 様式7(カリキュラム)

訓練名称のカリキュラムを示したもの。訓練を実施するための具体的な内容が 確認できる。(本調査研究では作成に至っていない)

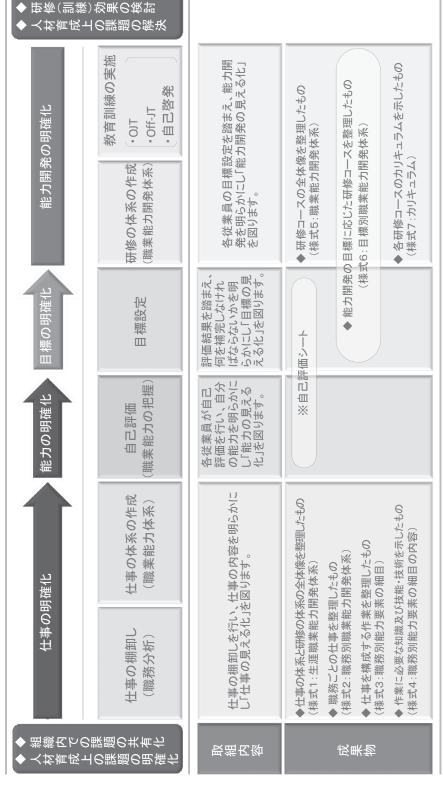
M:機構のモデルカリキュラム

	ポリテクセンター〇〇	管理番号	様式 7 S401-107-4
<u>□ □ □ □ □ 実施機関名</u> 訓練名称	(tel: xxx-xxx-xxxx) 営業・マーケティング戦略	,, _,,	
訓練対象者	営業部門管理職、営業リーダー		
訓練目標	マーケティングの理論と営業メンバー得し、戦略的な営業活動を立案できる顧客リーダーの変化や顧客の経営課題習得する。	人材を育成	戈する。特に
細目	内容		訓練時間(h)
1. 企業経営と経営戦略	(1)経営ビジョンの考え方(2)環境分析(3)経営戦略		3.0
2. マーケティングの枠 組み	(1)マーケティングの意義と役割 (2)マーケティング戦略の考え方 (3)マーケティング情報の収集と探索		1.5
3. マーケティング戦略 の展開の考え方	(1)市場戦略 (2)商品(サービス)戦略 (3)価格戦略 (4)販売促進戦略		2. 5
4. 顧客への提案書づく りの考え方と進め方	(1)顧客の問題点の発見方法(2)課題の解決方法(3)提案作業と提案作成		5.0
5. 営業組織とシステム 開発組織のあり方	(1)市場対応型営業組織の考え方(2)システム開発組織のあり方		3.0
6. 営業メンバー行動管 理	(1) S F A の考え方と進め方 (2) 効率的な営業活動指針 (3) 営業活動管理の考え方 (4) 営業計画の策定		3.0
	量川 紀	東時間合計	10.0
 使用機器・教材等	テキスト、資料、OHP、事例シート、チョ		18.0

4-4 生涯職業能力開発体系を活用した人材育成の流れ

人材育成の流れ 開発体系を活用した、 能力 職業 買 ₩

人材育成のビジョン及びマネジメントサイクルづくりのキーワードは、「明確化(見える化)」 「生涯職業能力開発体系」は、次の「仕事」・「能力」・「目標」・「能力開発」の流れの明確化を支えます。



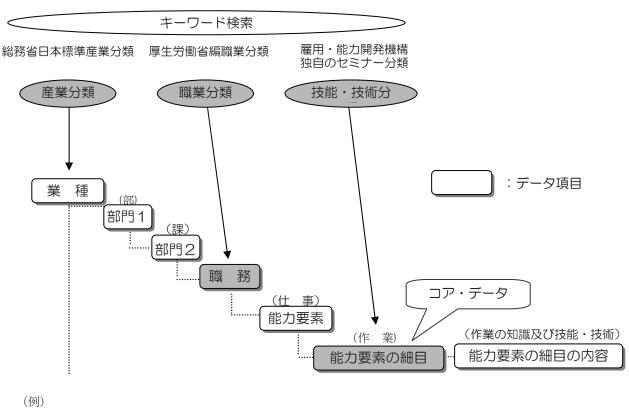
※「自己評価シート」とは、各従業員が有する職業能力を把握するためのチェックシートです。貴社の職務・仕事・作業ごとに必要な知識 及び技能・技術(生涯職業能力開発体系様式4「職務別能力要素の細目の内容」)を活用することにより、客観的な自己評価を行うこと ができます。この例として、ジョブ・カード様式4-2「評価シート」等があります

4-5 生涯職業能力開発体系のデータ構造

生涯職業能力開発体系の拡充と普及を促進するため、データの構造化に当たっては、名称に一定の基準が必要となるため、「業種名」では、原則日本標準産業分類の小分類もしくは細分類を採用することとしている。

また、「職務名」については、原則厚生労働省編職業分類を基本としているが、中央団体 及び専門委員との協議の上選定することとしている。

生涯職業能力開発体系(職業能力体系)のデータ構造



電気機械器具製造業	製造	加工	旋盤加工	外径加工	加工準備	旋盤各部の名称を知っている 機械図面の読方を知っている 各部の注油と点検ができる 加工工程を組むことができる
	総務	庶務	庶務管理	庶務・渉外実 務(補助)	文書作成	社内文書と社外文書の種類、用 途を知っている 書式通りに文書を作成できる 簡単な帳票類を作成ができる